

新潟市告示第232号

新潟市名誉市民の選定について

新潟市名誉市民条例第2条の規定に基づき、新潟市名誉市民を選定したので、下記のとおり告示する。

令和6年3月26日

新潟市長 中原 八一

記

1. 氏名

さの とうざぶろう  
佐野 藤三郎

大正12年11月25日生  
平成6年3月25日死去

2. 略歴

昭和30年12月	亀田郷土地改良区理事長
昭和44年4月	新潟市都市計画審議委員
昭和50年9月	財団法人亀田郷地域センター理事長
昭和50年12月	新潟市都市計画審議会会長
昭和54年5月	新潟県日中友好協会会長

3. 顕彰すべき事績の概要

(1) 農業分野における功績

多くの土地改良事業に取り組むことで、「芦沼」と呼ばれた湿田を日本有数の穀倉地帯に変え、本市の農業の発展に大きな功績を残した。新潟地震の際、震災からの復興に尽力し、農地や農業用施設の復旧等に取り組んだ。排水改良の取組を通じて、市民の安心安全の確保（浸水対策）の面でも、大きな功績があった。

(2) まちづくりの分野における功績

昭和の中頃から、都市化の急速な進行を背景に農地転用が急増していく中、都市の発展と農業の健全な調和に向けて、都市と農村が共に発展できる地域づくりに取り組んだ。この理念は、現在の都市と農業が調和する新潟市の形成・発展につながるなど、本市のまちづくりにも大きな影響を与えた。

(3) 国際交流の分野における功績

中国黒龍江省三江平原の農業開発に関する、中国政府からの協力要請に対して積極的に協力し、中国の大食料生産基地の実現に向けて奔走した。中国での取組を契機に、「新潟県日中友好協会」や「日本海圏経済研究会」を設立するなど、環日本海を軸とした経済交流の流れを作り、本市の国際交流の先駆者として大きな功績を残した。